

## 「『超特急列車、東京－大阪間 3 時間への可能性』と鉄道技研」 展示コーナーをオープンしました

平成 26 年 9 月 8 日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、平成 26 年 9 月 8 日に国立研究所ロビー内に「『超特急列車、東京－大阪間 3 時間への可能性』と鉄道技研」展示コーナーを設置しましたのでお知らせします。

今回設置した展示コーナーは、鉄道総研国立研究所を来訪される皆さまに、東海道新幹線の実現にあたって、国鉄・鉄道技術研究所が果たした役割などについて、鉄道総研の所蔵する当時の資料や映像を用いて紹介する場として設置しました。資料映像では、国鉄・鉄道技術研究所が主体となって行った新幹線の技術開発に関する様々な基礎的実験の様子や、鴨宮モデル線での試験車両の走行実験などがご覧になれます。展示は 10 月末日まで行います。

ご来訪の折にお立ち寄り頂き、新幹線の実現に貢献した当時の研究者などの人々の足跡を、この機会に振り返って頂ければ幸いです。



展示コーナーのテープカットを行う  
鉄道総研理事長 熊谷則道（右）と 同情報管理部長 西江勇二（左）